



〒581-0003 八尾市本町 7-11-18
 八尾メディカルアベニュー 2F
 TEL 0729-90-5820
 FAX 0729-90-5830

菊池内科ホームページ

<http://www.kikuchi-clinic.com/>
<http://www.kikuchi-clinic.com/ez/> (for EZweb)
<http://www.kikuchi-clinic.com/i/> (for i-mode)

8月22(木)

23(金)

24(土) は休診です。

お間違えのないようにお願いします。
 休診の前後は、診察がかなり混雑します。
 ご了承ください。



2頁：ご注意下さい！
 中国産やせ薬による健康被害
 血栓治療薬の副作用

3～5頁：医療制度関連法案可決！
**老人医療は、今年10月から
 大幅な負担増**
 現在1日850円(月4回
 まで)ですが、**1割負担**
 になります。
調剤薬局でも1割負担
 になります。

6頁：**老人医療の方、必見**
 検査は9月末までに！
 私は、胃も腸も検査しました

7頁：インフルエンザの予防接種
 本の紹介：阪大医学生が
 書いた「がん」の本

8頁：八尾市の健診のご案内
 「からだ元気科」8・9月の
 放送予定

私は、大学卒業まで四国で過ごしました。四国といえば「南国」といわれますが、冬には雪も降りますし、大阪ほど暑くはありませんでした。

自宅に「ウインドファン」がついた時には、涼しくて感動したものです。

時代が違えばと言われればそれまでですが、学校も高校までは冷房はありませんでした。大学はさすがに冷房がありましたが、自分の部屋は扇風機だけでした。

その頃の体力があれば今の暑さに耐えられるか考えてみますが、とても無理な気がします。

結局、冷房をするから屋外はさらに暑くなるという悪循環です。私が生きている間は大丈夫かもしれませんが、地球温暖化で北極や南極の氷が溶けて大阪は水没するのでしょうか。いや、そうなる前にお得意の「公共事業」で国中を埋め立てたり、堤防を作ったりで大丈夫なのかもしれません。そうなったら、景気もものすごく良くなるのでしょうか。

国会で医療関連法案が可決され、いよいよ医療費の負担が重くなってきます。病気は、予防と早期発見・早期治療が大切ですが、それもやりにくい時代になってきます。自分の健康を守るのは、最後は自分だけということをお忘れ下さい。

中国産ダイエット食品による健康被害について

ご存知のように、中国産のダイエット食品によって、多数の被害者(7月30日現在厚生労働省に報告された被害者数は522人、死亡者は4人)が出ています。

成分によって、「未承認医薬品」と「健康食品」に分類されていますが、どちらにも死亡者が出ています。**ほとんどが「肝臓」と「甲状腺」の障害**です。

漢方薬(中国の薬)や健康食品なら副作用はない、というような誤解があるようですが、2年前には、健康保険で処方できる漢方薬「小柴胡湯」でも、肝硬変しょうさいこうの患者さんが服用すると「間質性肺炎」が起こりやすくなるということで、処方禁止になりました。

新聞の折り込み広告や健康雑誌には、「糖尿病や末期ガンが治った」などという「体験談」が多く掲載され、健康ブームをおおっています。でも、よく考えてみて下さい。少くも食べる量を減らしてもやせないのに、1日何粒かの錠剤をのむだけで1か月で5キロも10キロもやせるとしたら、体の中でどんなことが起こっているのでしょうか! 日本人の死亡原因の1位である「ガン」がそんなに簡単に治るのなら、医者や製薬会社は何をしてきたのでしょうか!

私が本当にそんな薬を発明したら、通販なんかでみみっちい商売をするより、特許を取って製薬会社に何百億円かで売りつけて、一生左うちわで暮らそうと思いますが、どう思われますか?

厚生労働省のホームページ <http://www.mhlw.go.jp/>

血栓治療薬の副作用について

塩酸チクロピジン(成分名)という、脳血栓などの治療薬があります。商品名は、「パナルジン(第一製薬)」その他、19社から同成分薬が発売されています。

次の3つの重大な副作用が、以前から指摘されていますが、その発生が減らないということで、緊急安全性情報が、厚生労働省から発表されました。

- ・血栓性血小板減少性紫斑病
- ・顆粒球減少症
- ・肝障害

いずれも重症の場合は、生命にかかわる副作用ですが、**ほとんどが内服開始から2か月以内に発症しています。**

したがって、内服開始から2か月間は、2週間毎に血液検査をするようにとのことです。

現在当院でも、数名の方に処方しておりますが、最近処方を開始した方はありませんので問題ないと思います。これからも定期的に血液検査をさせていただきます。

よほど特殊な病状でない限り、アスピリン(商品名 バファリン等)でも代用できますので、変更を希望される場合はそうさせていただこうと思います。

医療制度関連法案可決される！

社会保険本人3割負担に 老人医療完全1割負担に

7月25日に、参議院の厚生労働委員会において、健康保険法改正案を含めた医療制度関連法案が可決されました。(与党3党による強行採決)

翌26日には、野党4党が抵抗して欠席した参議院本会議で採決、可決されました。

老人医療の患者負担増(今年10月から)

現在		今年10月から
当院での支払い		
1日850円 (月4回まで)		1割 (一定以上所得者は2割)
薬局での支払い		
なし		1割 (一定以上所得者は2割)

「一定以上所得者」とは、課税所得が年に124万円以上の方です。

目安としては、
一人暮らし：年収約380万円以上
夫婦2人：年収約630万円以上

現在、薬局での支払いはありませんが、10月からは薬局でも1割(2割)の負担が必要になります。

現在は老人医療は70歳以上ですが、今年10月からは71歳以上、来年10月からは72歳以上・・・と毎年1歳ずつ引き上げられます。最終的には、平成18年10月からは75歳以上となります。

ただし、自己負担の面では、70～74歳の方も75歳以上の方と同じ扱いをされることになりましたので、70歳以上は同じ負担割合になります。

社会保険本人・退職者国民健康保険本人の負担増(入院・外来とも**2割 3割**)

社会保険家族・退職者国民健康保険家族の負担増(入院**2割 3割**)

健康保険料の値上げ(ボーナスも徴収対象になる)

(いずれも、来年4月から)

政府管掌健康保険の保険料率の変更

7.5% **8.2%**

現在はボーナスからは徴収されていませんが、ボーナスも対象になる「総報酬制」になります。

(現在の保険料率は8.5%ですが、総報酬制では7.5%に相当します。)

自己負担限度額の値上げ (一般・老人とも) (今年10月から)

老人 1月当たりの限度額 (外来)			
現在		今年10月から	
3400円		一定以上所得者	40,200円
		一般	12,000円
		低所得者	8,000円

現在の限度額は、当院のような「定額制」の診療所では3400円(850円4回)ですが、「定率制」の診療所や200床未満の病院では3200円、200床以上の病院では5300円です。

老人 1月当たりの限度額 (入院)			
	現在		今年10月から
一定以上所得者 (月収56万円以上)	37,200円		72,300円+1% (40,200円)
一般	37,200円		40,200円
低所得者2 (住民税非課税)	24,600円		24,600円
低所得者1 (住民税非課税)	15,000円		15,000円

一般 1月当たりの限度額 (外来・入院とも同額)			
	現在		今年10月から
上位所得者 (月収56万円以上)	121,800円+1% (70,800円)		139,800円+1% (77,700円)
一般	63,600円+1% (37,200円)		72,300円+1% (40,200円)
低所得者 (住民税非課税)	35,400円 (24,600円)		35,400円 (24,600円)

「+1%」とは、一定の限度額を超えた医療費の1%が加算されるということです。
()内の金額は、4か月目以降の場合です。

薬剤一部負担金の廃止 (来年4月から)

今回の法改正で、**これだけが負担減**となります。唯一の救いです。
現在、処方薬の種類数によって、下表のように負担金が徴収されています。
(**薬剤費と調剤料等の技術料以外です**)
なお、老人医療では既に廃止されています。

種類数	薬剤一部負担金 (1日あたり)	30日分の場合の 負担金
1種類	0円	0円
2～3種類	30円	900円
4～5種類	60円	1800円
6種類以上	100円	3000円

なお、複雑な話になりますが、ここでいう「種類数」は、実際の薬の数とは一致しません。**同じのみ方の薬で、1日分の値段(薬価)が205円以下の場合、1種類と数える**ことになっているのです。

例1：1日3回毎食後にのむ薬が「3つ」ある場合で、それぞれの1日分の薬価が100円、50円、30円の場合、合計180円で205円以下なので、「1種類」として扱われ、一部負担金はありません。

例2：上記と同じのみ方でも、それぞれの薬の1日分の薬価が、100円、60円、60円の場合、合計220円となり、「3種類」として扱われ、1日あたり30円(30日分なら900円)の負担金が徴収されます。

例3：1日1回の薬が「1つ」、1日3回の薬が「1つ」の場合、薬価に関係なく、のみ方が2通りなので、「2種類」として扱われ、1日あたり30円の負担金になります。

以上のように、2重負担である上に、計算方法が複雑なため患者さんの理解が難しいため、以前から廃止が要求されていました。
(薬の数が減ったのに、支払い額が高くなることもあるなんて納得できないでしょう！)

患者さんによっては、1月分で900～3000円の負担が減るわけで、当然とはいえないうれしいことです。

費用のかかる検査は、9月末までに受けておきませんか

老人医療の方は、現在はどんな検査を受けても、1日850円(月4回まで)ですが、**10月からはすべて1割負担(収入の多い方は2割負担)になります。**

実際に1割となると、どの程度の金額になるかピンとこないかもしれません。当院での検査内容での目安をあげてみます。(10円未満は四捨五入)

血液検査(内容によりますが、全般的な検査で)	500~600円程度
心電図	150円
胸部X線写真	170円
超音波検査(腹部エコー)	550円
胃カメラ	1200円前後
(組織検査をした場合)	(2500円前後)
(ピロリ菌検査をした場合)	(200~500円加算)
大腸ファイバー	1800円前後
(組織検査をした場合)	(3100~5500円前後)
(ポリープを切除した場合)	(6500~8300円前後)

内視鏡検査の費用は、組織検査の個数や場所、使用する薬剤などによって異なりますので、ご了承下さい。

上記の検査料以外に、初診料・再診料・(病名によって)慢性疾患指導料・(他院からの紹介の場合)診療情報提供料・(投薬をした場合)処方箋料などが加算されます。

初診料 270円

再診料 40~140円(その月内の受診回数によります)

慢性疾患指導料 230円

処方箋料 40~90円(病名・薬の種類数・後発品を含むかどうかで異なります)

今年も、胃と大腸の内視鏡検査を受けました。



毎年恒例の胃と大腸の検査を、7月10日に受けました。

夕方休診の水曜日でしたので、午前の診察中から大腸検査用の洗腸液(下剤)を飲み始め、午後から検査を受けました。

(左)の写真は、胃の中ですが、軽い慢性胃炎だけで、ピロリ菌もいませんでした。

大腸の検査では、過去にポリープを切除しているのですが、今回は幸い発見されませんでした。

もちろん、当院でも検査・治療を行っておりますので、年に1回は検査をお勧めします。

インフルエンザの予防接種

インフルエンザの予防接種の予約受付を開始します。

接種は、10月中旬からになります。流行が始まると希望者が増え、お断りすることが毎年あります。

十分な数量を確保するつもりですが、ご希望の方はできるだけ早めに予約をお願いいたします。

インフルエンザにかかって症状がひどくなると困る方(高齢の方、心臓病や糖尿病などの方)には特に予防接種をお勧めします。

また、毎年、学校や幼稚園の学級閉鎖などがあります。流行が試験の時期と重なることが多いので、ご検討下さい。

昨年から65才以上の方は公的な補助があります。負担は昨年と同じなら1000円です。(今年は10月15日~12月27日が実施期間となります。)

なお、ワクチンはインフルエンザ専用ですので、普通の風邪の予防はできません。

また、今シーズンに流行するインフルエンザの型と合わなければ効果がない場合がありますので、ご了承下さい。

(今年のワクチンは、A香港型(パナマ株)、Aソ連型(ニューカレドニア株)、B型(山東株)の3種類の混合です。)

先月読んだ本のご紹介

阪大医学生が書いたやさしい「がん」の教科書

大阪大学医学部医学科3年

駒沢 伸泰 著

PHP研究所 1300円(税別)



今まで何度もこの広報誌に書いていますが、「がん」は日本人の死亡原因の第1位です。この本では、

がん(細胞)が、どのようにできてくるのかから正しくがんという病気を理解すること。

がんを生活習慣病としてとらえて、ライフスタイルから予防を考えること。

患者・医療者・家族関係のあり方。

などが書かれています。

症状や検査法や治療法などが具体的に書かれている本ではありませんので、そういう意味では物足りないかもしれませんが、これから「がん」と戦おうとする時には、まず読んでみる価値のある本だと思います。

6月から、八尾市の肝炎ウイルス検診が始まりました。

B型あるいはC型肝炎ウイルスが、慢性肝炎・肝硬変・肝臓がんの原因の大部分を占めています。これらの病気は増加傾向にあり、国民病とも言われています。

老人保健法による検診の一部として、やっとウイルス検査が行われることになりました。無料ですので、できるだけお受けになることをお勧めします。

対象になる方

八尾市基本健康診査をお受けになる方で、年齢が40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の方。

過去に大きな手術を受けたり、分娩時に出血が多かった方。

八尾市基本健康診査で、肝機能障害のため「要指導」と判定された方。

詳しくは、6月号をご覧ください。

通常の健診(八尾市基本健康診査)と八尾市大腸がん検診は、随時行っておりますので、年1回はお受け下さい。(予約は不要です)

- ・八尾市基本健康診査：血液検査・尿検査・心電図
- ・八尾市大腸がん検診：便潜血(2回法)

日本医師会提供の健康番組 「からだ元気科」

毎週金曜日 11:00~11:25
読売テレビ(10チャンネル)

8月	2日	水頭症
	9日	痛風
	16日	禁煙宣言
	23日	糖尿病
	30日	女性外来
9月	6日	外科医の一日
	13日	胃がん
	20日	食道がん
	27日	肺がん

夏休みのお知らせ

8月22日(木)
23日(金)
24日(土)

の3日間を休診とさせていただきます。
なお、お盆の期間は平常通り診療します。

休診の前後は、診察が混雑しますので、できるだけ日にちをずらして御来院下さい。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12							×
午後4~7			×			×	×